

ビックデータで
トラック輸送を最適化する

ETC2.0 車両運行管理支援サービス

別紙1

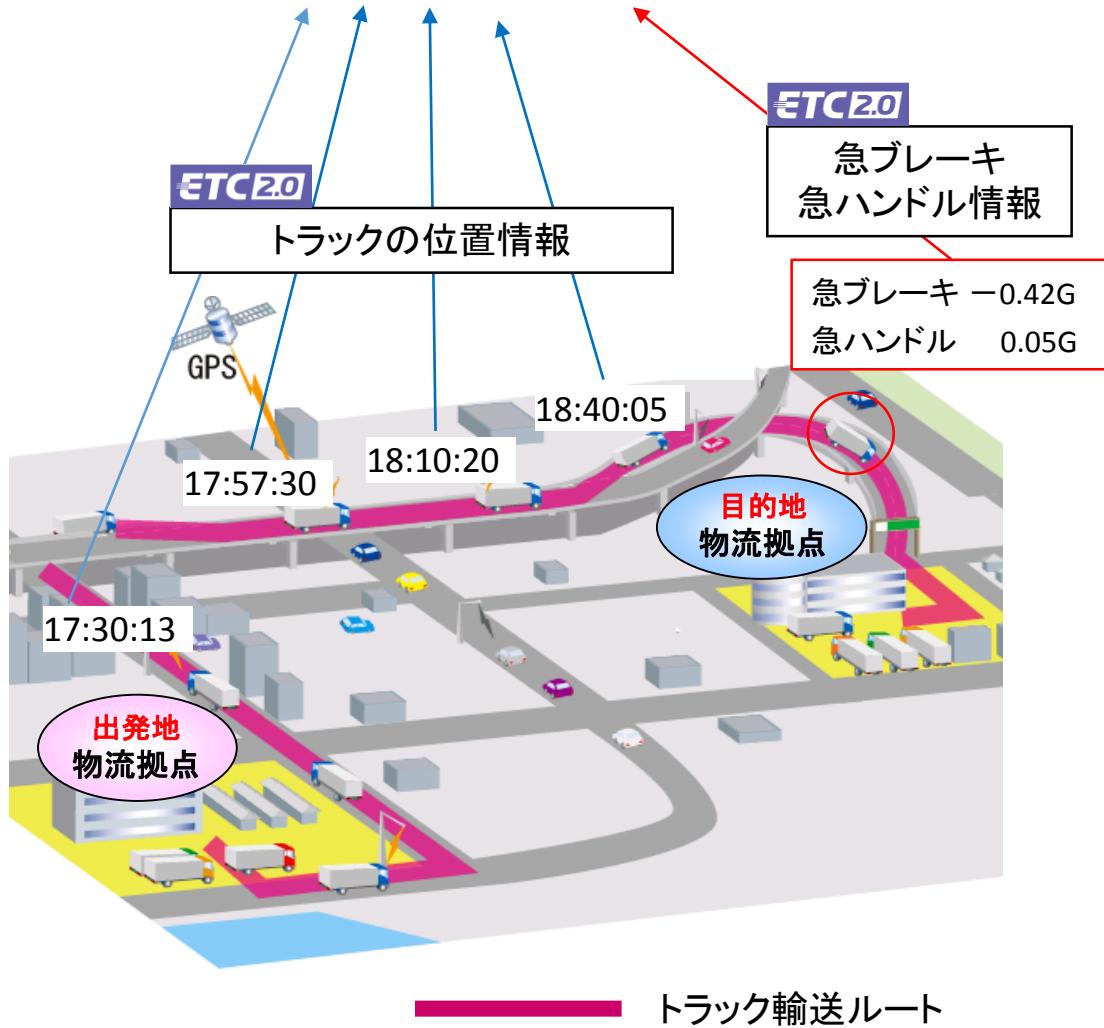
物流事業者



リアルタイムな位置情報で
正確な到着時刻を予測
⇒ 荷待ち時間を短縮



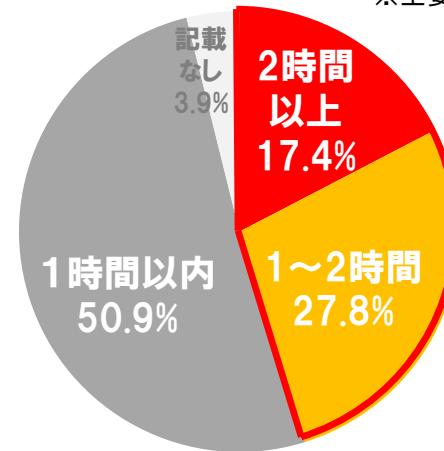
トラック運転の危険箇所を
ピンポイントで特定
⇒ ドライバーの安全確保



平成28年2月より実験開始

(DATA) 荷待ち時間の現状

※主要産業の配送センターにおける到着から荷役開始までの時間



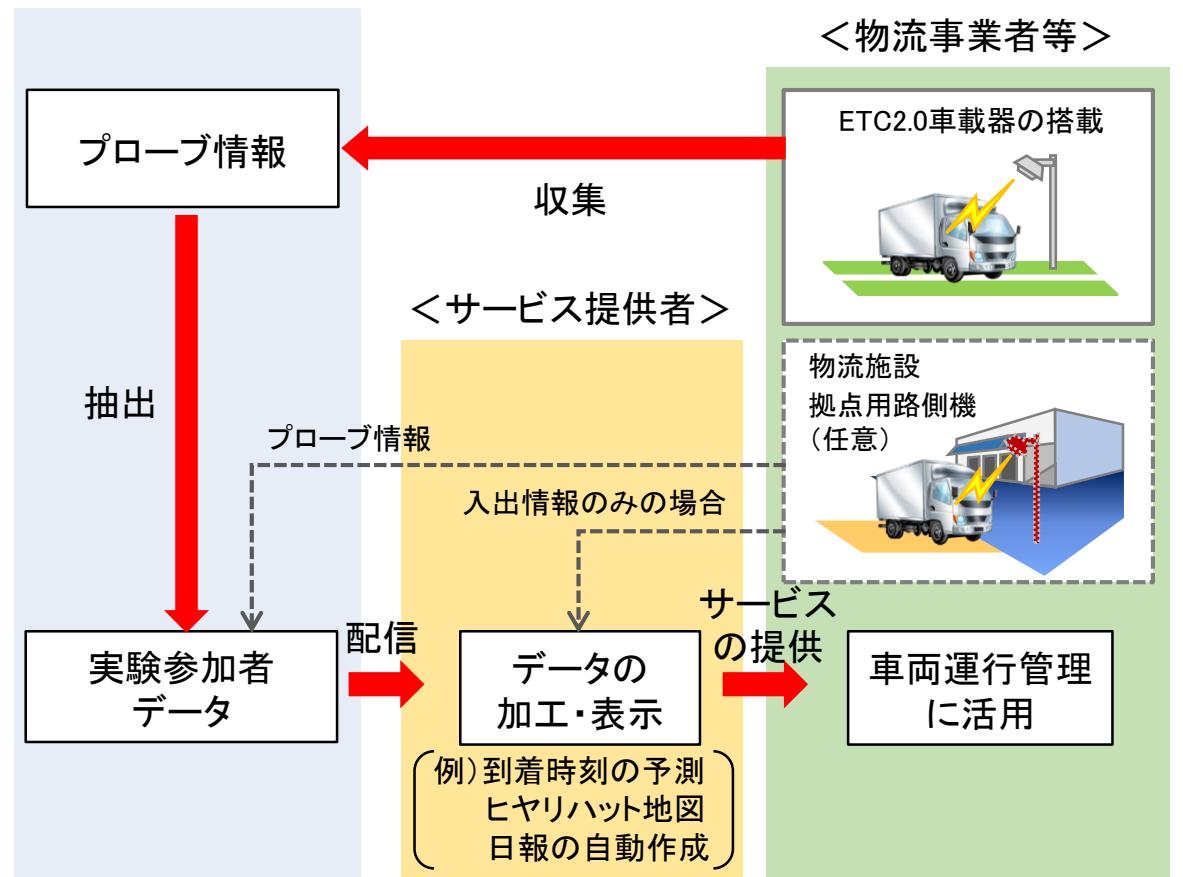
約半数で
1時間以上の
荷待ち時間が発生

荷主庭先実態調査報告(日本路線トラック連盟)より

実験スキーム

国土交通省

実験参加者(公募)



併せて、バスやレンタカーへの適用についても実験予定

ETC2.0 車両運行管理支援サービスの実験内容

概要

- ・車両のプローブ情報を活用し、運行管理の効率化やドライバーの安全確保等を試行実施する事業者又は事業者グループを公募
- ・実験参加者から、様々なサービス利用方法の提案を求め、その実現可能性、有効性を確認

実施期間

- 第Ⅰ期：平成27年11月～平成29年3月(20社程度)
- 第Ⅱ期：平成28年春頃～平成29年3月(第Ⅰ期を踏まえ設定)
(第Ⅰ期の取組を広報し、一層の提案を広く求めて実施)

車載器購入支援

ETC2.0車載器の調達税込み価格(1台当たり**3万円上限**)

試行の評価・分析

- ・実験参加者の観点から安全性の向上、経営上の効果等を評価・分析
- ・国としての施策の有効性、実現可能性の評価・分析
- ・社会的効果(渋滞、事故の削減等)の評価・分析

ドライバーの安全確保

急ブレーキをドライバーへの安全運転啓発に活用し、事故削減効果を分析



荷待ち時間削減

車両位置のリアルタイムの提供により、作業員の待機時間削減効果を分析



日報管理の自動化効果

日報作成の自動化を図り、運行管理者の業務軽減効果を分析

